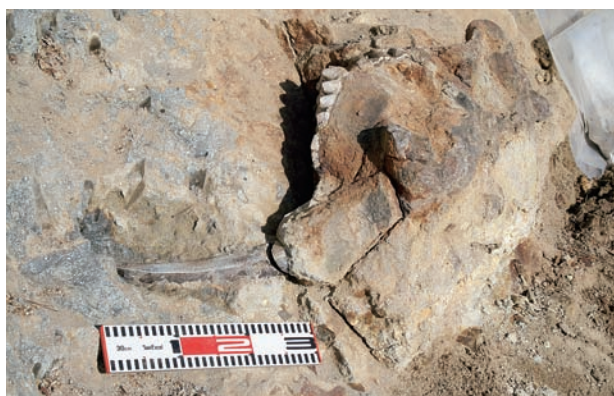


5/10 茨城県の石に選ばれました

平成23年12月11日、市内で地質調査中に発見された1,650万年前の古代ゾウ「ステゴロフォドン」の化石が、日本地質学会が選定した茨城県の石（化石）に選ばれました。

化石を発見したのは、当時高校2年生の星加夢輝さんで、世界的にも貴重な資料と高い評価を得ました。現在は、ミュージアムパーク茨城県自然博物館に展示されています。またレプリカや発見当時のパネル等は、山方公民館に展示されていますのでぜひご覧ください。



▲発見されたステゴロフォドンの化石

5/15 宗次郎森の音楽会

おがわふれあいの森にあるオカリーナの森・野外音楽堂で「2016春 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」が開催されました。

木漏れ日の中、宗次郎さんによるオカリーナ演奏が森に響き渡りました。途中、宗次郎さんがステージを下りて観客席へ入って演奏する場面も。

風の音や木々のざわめき、小鳥のさえずりも相まって自然のオーケストラを醸し、観客は心と耳を傾けました。



▲オカリーナの音色に聞き入る観客

5/3 春の野草を味わう

野草を味わう会（主催：環境市民会議）を、緒川総合センターで開催しました。この会は、自然を楽しみながら、野草の香りと普段味わえない味を知ってもらうことを目的に、平成22年度から実施しています。

当日は緒川薬草研究会の協力で、事前に採取しておいた野草を料理し、山菜おにぎり3種と天ぷら、おひたしなどの「野草のお弁当」を作りました。その後、ふれあいの森を散策しながら野草のお弁当を楽しみ、春の野草の名前や野草が育つ環境などについて学びました。



▲みんなで協力して美味しいお弁当ができました

夏祭りへGO!

7/17	七夕まつり in 緒川	緒川総合支所 駐車場
7/29, 30	夏まつり（祇園祭）	大宮十字字・ 甲神社境内他
8/6	長倉七夕まつり	長倉地内
8/14	御前山 納涼花火大会	野口地内 (那珂川大橋下流)
8/20	美和ふるさと祭り	美和運動公園
8/20	あゆの里まつり	清流公園
8/20	あきない祭2016	大宮小学校 グラウンド



5/21

赤ちゃんのすこやかな成長を願って

市内美和地域にあるビジョン美和の森で、「第30回ビジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン植樹式」が開催されました。今回で30年目となるこの活動は、累計約13万人の赤ちゃんとその家族が参加し、「育児は育樹、心はひとつ」をスローガンに豊かな森づくりを進めています。

式典では、30周年記念映像が放映されたほか、関係者に感謝状と盾が贈られました。また植樹者を代表して、2家族が植樹への思いなどを述べ、たくさ

んの拍手が送られていました。

その後、参加した20組の家族が広葉樹の苗木を記念植樹しました。市の植樹者代表として参加した加納碧士くんのお母さんは、「自分と姉も生まれた時にこの植樹式に参加しました。子どもには木と同じように地に足をつけて、しっかり育ってほしい」と話していました。



▲感謝状が贈られた皆さん



▲加納碧士くんご家族



▲植樹のあとに記念撮影

5/15

川原をステージに音楽会

家和楽地内の川原で「第2回川原の音楽会」が開催されました。第1回に引き続き晴天となったこの日は約800人が来場し、様々な楽器の演奏に耳を傾けました。

音楽会で最初に登場したのは、お琴の赤津代里子さん。川のせせらぎをバックに澄んだ音色が響きわたりました。その後も、常陸大宮吹奏楽団・ひたちJr弦楽四重奏団・寺門正人さんのサクソソロ・HaLo with タカツキさんの演奏などが披露されました。また川や自然を体験するワークショップとして、カヌー体験や楽器作りなどが行われ、自然を満喫した一日となりました。



▲琴と水郡線が共演しました

5/17

暑い夏を乗り切ろう

グリーンアドバイザーの小瀬梅子さんを講師に迎え、市役所で緑のカーテンづくり講習会（主催：環境市民会議）を開催しました。

はじめにゴーヤの苗の植え方について、プランターを使って説明。その後、一人ひとりがポットで育った苗を摘芯したり、支柱を立てたりしながら植え方を学びました。小瀬さんは、効果的な肥料のやり方や、楽しみながら育てるポイントなどについて説明し、参加者からの質問に丁寧に答えていました。

自然を生かしたこのグリーンカーテンについては、10月頃コンテストを開催する予定です。



▲土の配合を説明する小瀬さん(右)

6/1

安心して暮らせるまちづくりをめざして(認知症サポーター養成講座)

—茨城県立小瀬高等学校—

小瀬高等学校で、生徒・保護者・地域の方が参加して「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

この講座は、昨年1月に策定された「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」を受け、認知症の人を含む高齢者への理解を深める一つとして、市町村が実施しています。



▲ 講話に聞き入る小瀬高生



▲ 寸劇を披露した常陸大宮市キャラバンメイト

講座では、常陸大宮市キャラバンメイトが講師となり、認知症の正しい知識や接し方、サポーターの役割などについて、講話や寸劇が披露されました。

最後に認知症サポーターの証であるオレンジリングが生徒代表に手渡され、「とても勉強になった。将来の超高齢化社会に向けて、今日学んだことを生かしていきたい」とお礼の言葉を述べました。

5/24

熊本地震へ保健師を派遣

熊本地震で被災された方の健康面や衛生面を支えるため、本市の助川直子保健師を熊本県菊池郡大津町へ派遣しました。これは県からの要請を受け、県と市町村合同の保健師チームの活動の一環として実施されたものです。

活動は25日からの4日間。派遣から戻った助川保健師は「避難所は集約されて徐々に日常生活に戻りつつありますが、まだまだ支援は必要だと感じました」と話していました。



▲被災者の血圧を測る助川保健師

5/11

熊本地震へ義援金

市では、職員ら509人から集めた義援金38万200円と市の予算から10万円を、義援金として熊本県へ送りました。

また市議会議員20人から集めた10万円を、九州市議会議長会へ送りました。

5/18

パラオ共和国へ義援金

3月下旬から、パラオ共和国ではエルニーニョの強い影響により、過去最悪の干ばつが発生しました。市では、友好的な関係にある同国へ義援金を送るため、義援金を募りました。その結果は下記のとおりです。

- ・市民、市職員等…177,213円
- ・市の予算…100,000円
- ・市議会議員20人…100,000円
- ・市社会福祉協議会…100,000円

5/16 思い出に残る写真をどうぞ

市役所1階の介護高齢課前に、記念撮影が自由のできるウェルカムボードを設置しました。このボードは、結婚や出産を記念して市の花木であるバラや桜、マスコットキャラクターのひたまるなどが描かれたボードの前で撮影できるようになっています。

撮影については、総合案内または近くの職員がお手伝いしますので、お気軽に声をかけてください。

設置した市民課では、「人生の節目を記念ボードの前でぜひ写真に残してほしい」と話していました。



▲設置されたウェルカムボードで記念撮影

5/27 御前山・那珂川で観光を強化

城里町役場で「御前山・那珂川広域連携協議会設立総会」が開催されました。

この会は、両市町が誇る御前山・那珂川の地域資源を活用し誘客促進を図ろうと、地元の観光関連事業者などで構成されています。

今後、ハイキングや那珂川でのラフティング体験などを組み合わせた観光ツアーや、御前山ダム周辺でのトレイルランなどの事業を展開していく予定です。



▲設立総会の様子

5/21 「常陸大宮 戦争の記憶1」 発刊

常陸大宮市文書館では、市民が体験した戦争を未来へ伝えるため、「常陸大宮 戦争の記憶1」を発刊しました。

この本は戦争体験者への聞き取り、小瀬村役場職員高井良男さんの戦時下の日記、満蒙開拓青少年義勇軍訓練生石澤文男さんのもとに届いた書簡をまとめたものです。今後も調査を続けていきますのでご協力をお願いします。

○**取扱い** 文書館・歴史民俗資料館大宮館
○**価格等** 540円(税込) A4判 230ページ



いっしょにまちづくり

友人に誘われて「川原の音楽会」の実行委員になりました。今回の音楽会で、目的の達成よりプロセスを楽しんで、自分たちができることに取り組む大切さを学びました。

手作りの音楽会なので資金が豊富ではありません。

そこで地元の名産・西の内紙を使ったうちわを作って販売し、運営費用の一部にしました。和紙の美しさに感心しながらうちわ作りに参加しましたが、数人での内職仕事はおもしろく、貴重な体験となりました。当日そのうちわを営めてもらい、売れていくことがとても誇らしかったです。協賛金もありがたいのですが、無理をするのではなく、このような方法で地元の魅力を発信し、なおかつ運営資金にあてるといのは、今までであるようでなかったように思います。今後もこのような取り組みに参加していきたいです。



森 妙子さん
川原の音楽会実行委員

市標で市をPR！

常陸大宮市 市標

常陸大宮市を誇ろう

常陸大宮市では情報発信力強化のため、効果的で効率的な情報発信の手法を検討し、茨城県内では初となるV I（ビジュアルアイデンティティ）※事業に取り組みました。これは、全国的にみても地方公共団体として取り組む例が少ない事業で、平成27年度から地方創生先行型事業を活用しています。

このようなデザインは、ロゴマークやシンボルマークといわれることが一般的ですが、「標」という字には「目じるし」のほかに「目あて」「目標」といった意味があります。

本市の象徴である「ばら・さくら・かわせみ・あゆ」をデザインに取り入れた「市標」を見た人が興味を持つとともに、視覚的に一目で本市を認識できる目じるしとなります。またこのデザインが象徴する本市の自然を守り続け、一人でも多くの人に訪れてもらうことを目標とする意味で、「市標」という名称にしました。

「市標」は、市の情報発信力強化のための重要なアイテムとして、統一した配置やデザインなどの指定に沿って使用します。本市の発行する各種のお知らせやチラシ・パンフレット、また職員の名刺や封筒などの紙媒体のほか、ホームページ、イベントのポスターやのぼりなど、各種媒体で積極的に使用していきます。さらには、様々なシーンに使えるよう、それぞれを単独でデザインした個別市標も作成しました。

今後「市章」「ひたまる」とあわせて幅広く活用し、希望する人には個人・団体を問わず利用してもらうなど、あらゆる分野での浸透を図っていきます。

※V I（ビジュアルアイデンティティ）とは

その組織（常陸大宮市全体）のイメージを統一した書体やマークなど視覚的なものによって表現することです。

■問い合わせ■

秘書広聴課 秘書広聴・広報グループ ☎52-1111（内線312）



市の花
ばら



市の木
さくら



市の鳥
かわせみ



市の魚
あゆ

5/18

市議会と市民が意見交換

市内2会場（大宮・美和）で、議会報告会が開催されました。

3年目となる今回は、2会場で同時刻に同じ内容で開催され、計97人の市民が参加。今年度の予算説明や、市の活性化、子育て支援などをテーマに意見交換が行われました。参加者からは、集落支援員や地域おこし協力隊の活動、過疎・高齢化による人口減少、オープンした道の駅常陸大宮などについて様々な質問があり、それについて議員は丁寧に答えていました。



▲おおみやコミュニティセンターでの様子

6/1

教育長賞を受賞

4月30日・5月1日に牛久市で行われた「東関東連盟牛久市長杯ティーボール大会」で優勝した常陸大宮リトルリーグに、教育長賞が贈られました。

リトルリーグは、ティーボール・マイナー・メジャーの3つで構成され、この大会は小学3年生以下の選手が出場し、19チームが参加して行われました。決勝では、6対4で水戸リトルリーグに勝ち優勝。その後関東大会に出場し、第3位の成績を収めました。



▲優勝した常陸大宮リトルリーグの皆さん

🍵 善意をありがとう 🍵

順不同・敬称略

<道の駅常陸大宮へ>



木製ベンチ 美和木材協同組合 21基



筑波銀行 車いす 2台



常陽銀行 壁掛け時計 1個



茨城県信用組合 木製掲示板 1台



茨城たばこ販売協同組合 灰皿 7台

スポーツ大会結果

第23回春季ソフトボール大会

開催日：5月22、29日
主催：市ソフトボール連盟（神永哲男会長）
会場：西部総合公園多目的グラウンド 他3会場
参加チーム：34チーム

優勝 盛和 準優勝 南町ソフト
第3位 上村田ソフト、インパルス
最優秀選手賞 鈴木 俊幸（盛和）
最優秀投手賞 大森 渉（盛和）
敢闘賞 林 直也（南町ソフト）



▲優勝した盛和の皆さん

第23回常陸大宮市民ゴルフ大会

開催日：5月26日
主催：市ゴルフ連盟（大瀧愛一郎会長）
会場：ゴルフ倶楽部セブンレイクス
参加者：96人
優勝 川田 喜義 準優勝 小暮 敦史
第3位 小室 正美 第4位 岡崎 良
第5位 岡崎 欣也
男子ベストクロス 櫻井 義則 71
女子ベストクロス 大賀恵美子 92

市民の方から まちのできごと

関東近郊中学校サッカー大会 in 神栖 で優勝しました

この大会は、中学生の心身の健全な育成と関東近郊のサッカーの普及と技術の向上を目的とし、昨年から開催されています。今年は関東各県の上位32校による3日間の激戦の結果、大宮中サッカー部が見事優勝しました。

【2日目】大宮中 1 - 0 坂本中（日立市）
大宮中 3 - 1 下館中（下館市）

【3日目】
準決勝 大宮中 2 - 0 鹿島中（鹿嶋市）
決勝 大宮中 0 - 0 勝田二中（ひたちなか市）
PK 4 - 3



▲優勝した大宮中学校サッカー部の皆さん

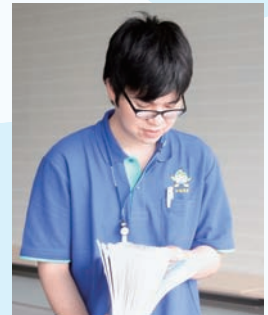
VOL.24

職員のつぶやき ~職員リレートーク~

今年4月に採用され、秘書広聴課に配属になった金子功治です。

私はよく本を読むのですが、市の広報に関わる業務をすることになって、ニュースや様々な広報誌をよく読むようになりました。また広報誌や記事を読む時に、内容だけでなく見出しや配色、記事全体のレイアウトなども気にするようになり、視野が広がり新しい楽しみ方を見つけました。

梅雨冷えの肌寒い日もありますが、本格的な夏に備えて体調管理を怠らず、早く一人前の職員になれるよう職務に励んでいきたいと思います。



広報紙発行の準備中です